

地域連携フォーラム2020

医教連携によって開発した 食物アレルギー等緊急時 対応プログラムの実践

—そなえる&ふせぐ 安心な学校づくり—

地方創生 SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



日時 令和2年 **12月26日** 土 13:30 ~ 16:00

会場 刈谷市中央生涯学習センター 4階 401、402研修室
(刈谷市総合文化センター内)

参加費
無料

「事前申込制」

主催/愛知教育大学、藤田医科大学 後援/愛知県教育委員会

プログラム

13:30 主催者あいさつ
13:40 愛知教育大学 学長 野田 敦敬

13:40 研究発表 I
14:10 「学校におけるアレルギー対応体制構築」
愛知教育大学 養護教育講座 准教授 岡本 陽

14:10 ワークショップ I
14:50 「食物アレルギーの基礎とアナフィラキシーの症状」
藤田医科大学 教授 石原 慎

14:50 休憩
15:00

15:00 ワークショップ II
15:40 「実技トレーニングデモンストレーション」
藤田医科大学 教授 石原 慎
愛知教育大学 養護教育講座 准教授 岡本 陽

15:40 質疑応答
15:50

15:50 総括
16:00 愛知教育大学 地域連携センター長 土屋 武志

趣旨

愛知教育大学地域連携センターは、大学と地域との連携強化を目的として2009年10月に開設されました。その役割として、本学に求められる社会貢献及び地域の教育的・文化的発展を推進していくことが期待されており、センター内において様々な活動を行っています。その1つとして、2015年3月に医療連携を深めていくことを目的として、本学と藤田保健衛生大学（現 藤田医科大学）とで連携協定を締結しました。医療・医学と教育の連携を生かして、子どもの健康課題をはじめ様々な課題に対し研究を進め、地域社会への貢献につながることを期待されます。

毎年好評であり、藤田医科大学と共同研究を行っている「食物アレルギー」をテーマとし、アナフィラキシーショック症状への対応を行う上で必要な実技の習得、事例検討からの体制構築や情報共有のあり方などをディスカッションすることで、学校教育現場における緊急時のあり方などを考える機会とします。

参加申込

締め切り／令和2年12月11日(金) 定員50名(先着順)

申込方法/下記URLまたはQRコードから申込みサイトにアクセスし、お申込みください。

<https://wuke.jp/aichi-edu/entries/add/95>



- *申込みサイトからお申込みができなかった場合は、下記お問合せ先までご連絡ください。
- *連絡先については、お断りの連絡のほか、悪天候や、学内での新型コロナウイルス感染者発生時等による中止連絡の際にも使用しますので、勤務時間外にも連絡が取れる電話番号・メールアドレスをご記入ください。
- *個人の情報については、目的外の使用はいたしません。

お問合せ先

愛知教育大学 地域連携センター (担当事務:地域連携課 地域連携係)

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1番地

TEL: (0566) 26-2129 FAX: (0566) 95-0552 E-mail: chiiki@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

アクセス



新型コロナウイルス感染症 対策に関するお願い

- ・マスクの着用、入室時のアルコール消毒にご協力をお願いいたします
- ・大声での会話はお控えください
- ・発熱、咳、頭痛など体調不良の場合は参加をお控えください
- ・家族、職場等に感染者が発生した場合は参加をお控えください
- ・会場は随時換気いたしますのでご了承ください

●JR東海道本線・名鉄三河線 刈谷駅南口よりウイングデッキ直結徒歩3分
伊勢湾岸自動車通豊明ICより約20分・豊田南ICより約25分